

平成20年度山口県国民保護実動訓練の概要

平成20年11月11日

山 口 県

【参観・撮影取材に当たっての注意事項】

1 参観者の方へ

(1)実動訓練について（山口県スポーツ文化センター前芝広場及び周辺）

- ・参観、通行等に当たっては、現場係員の指示にしたがってください。
- ・参観ゾーンを設けていますので、そちらからの参観・撮影をお願いします。
- ・訓練実施エリアには立ち入らないでください。（立入制限用のコーン・ポール等設置）
- ・訓練車両の通行に、ご注意ください。
- ・訓練中の職員への質疑等、訓練の支障となることは、ご遠慮ください。

(2)図上訓練について（山口県庁災害対策室（防災危機管理課内））

- ・県庁で実施する図上訓練については、執務室内で実施するため、参観をご遠慮させていただきます。

2 報道関係者の方へ

(1)実動訓練について（山口県スポーツ文化センター前芝広場及び周辺）

- ・訓練実施エリア内での撮影は可能ですが、撮影に当たっては、現場係員の指示にしたがい、定められた取材可能ゾーン内にて、訓練の支障にならないよう撮影してください。
- ・訓練車両の通行に、ご注意ください。
- ・訓練中の職員への質疑は、ご遠慮ください。取材には、県広報担当者が対応します。

(2)図上訓練について（山口県庁災害対策室（防災危機管理課内））

- ・訓練会場（災害対策室）での撮影はできますが、会場スペースが狭いため、撮影に当たっては、現場係員の指示にしたがい、訓練の支障にならないよう撮影してください。
- ・訓練中の職員への質疑は、ご遠慮ください。
- ・訓練終了後、県の担当者が取材に対応します。

平成20年度山口県国民保護実動訓練（実動）の概要

1 目的

テログループによる化学剤散布により多数の死傷者が発生した場合の負傷者等の救出・救護から原状回復まで、一連の緊急対処保護措置を行うことにより、関係機関の機能の確認や連携の強化を図る。

2 実施日時

平成20年11月11日（火）13時～14時30分

終了時間は、訓練の推移により変更する場合があります

3 実施場所

維新百年記念公園 山口県スポーツ文化センター前芝広場及び周辺
（山口市維新公園四丁目1番）

4 訓練想定

イベント開催中の山口県スポーツ文化センターにおいて、化学剤を用いた爆破事案が発生し、多数の死傷者が発生。

5 訓練項目

(1) 負傷者等の救出・救護

化学剤散布によって発生した負傷者等を陽圧式防護服着用の隊員が現場から救出し、除染、トリアージや救護措置を実施する。

(2) 救急搬送

現場から救出された重傷者等を病院に救急搬送する。

(3) 汚染地区の除染

化学剤の散布によって汚染された地区を清浄な環境へ原状回復するための除染を行う。

(4) 現地調整所の設置・運営

関係機関がそれぞれ講じる措置を円滑に実施するため、現地調整所において相互の連携を図る。

(5) 現場映像の伝達

テロ発生現場や応急措置の実施状況の映像を県対策本部に伝送する。

6 参加機関・人数

陸上自衛隊第17普通科連隊、山口県警察本部、山口市消防本部、防府市消防本部、日本赤十字社山口県支部、県立総合医療センター、山口県
約120人

国民保護実動訓練日程

実動訓練

場所：山口県スポーツ文化センター

13:00 **訓練開始**

山口市の県スポーツ文化センター玄関口付近において、化学剤散布事件が発生し、多数の負傷者が発生。

13:02頃 **山口市消防、県警機動隊到着**

消防と警察が連携して、警戒区域のゾーニングや物質の探知を行います。現地調整所を設置して、情報の共有、対応等の話し合いをしながら、負傷者の除染など救出・救助を実施します。

ゾーニング	効率の良い救出活動や救助隊員の安全管理のため、ホットゾーン（危険区域）、ウォームゾーン（準危険区域）、コールドゾーン（安全区域）の3つ活動区域に分けます。
-------	---

物質の検知	有毒ガス検知器を用いて検知します。
-------	-------------------

現地調整所	現場における関係機関（消防、警察、自衛隊、医療機関等）の活動を円滑にするため、関係機関相互の情報共有や活動調整を行う場です。
-------	--

除染	被害拡散を防止するため、衣服や体表面に付着したサリン等の化学剤を脱衣や洗浄などの方法により除去します。
----	---

13:25頃 **自衛隊到着**

救出・救助を支援するとともに、地域除染の準備を行います。

13:30頃 **日赤救護班、DMAT（県立総合医療センター）、防府市消防到着**

救護所を設置。負傷者のトリアージ、医療及び救急搬送を行います。

トリアージ	災害医療現場において、多数の負傷者を重傷度と緊急度により判別します。
-------	------------------------------------

DMAT	災害の急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ち、専門的な訓練を受けている医療チームです。
------	---

自衛隊による地域除染
被害現場の除染を行います。

14:30頃 **訓練終了申告**

訓練終了

平成20年度山口県国民保護実動訓練（図上）の概要

- 1 訓練目的
国民保護法に基づき、国、県、市及び関係機関が一体となった図上訓練を実施し、緊急対処事態における関係機関相互の機能確認、連携強化などを図る。
- 2 訓練概要

実施日時

平成20年11月11日（火）午後1時から午後3時30分まで
終了時間は、訓練の推移により変更する場合あり

実施場所

山口県庁 災害対策室（防災危機管理課内）：裏面参照

参加機関・人数

内閣官房、消防庁、海上保安庁（仙崎海上保安部）、自衛隊山口地方協力本部、陸上自衛隊第17普通科連隊、山口県、山口県警察本部、山口市、山口市消防本部
約80名

訓練形態

シナリオを事前に示さないブラインド方式によるロールプレイング型訓練（注1）
なお、各対策部及び関係機関は、ホームステーションプレー方式の形で参加（注2）

（注1）ロールプレイング型訓練

災害時の限りなく実相に近いシナリオを仕組みながら、訓練者（プレーヤー）がその与えられた役割に応じ、自らの判断で情報の収集や任務を遂行する形式で進める訓練

（注2）ホームステーションプレー方式

訓練実施場所を同一とせず、各対策部及び関係機関の執務室（会議室）において参加する形態

訓練想定

イベント開催中の山口県スポーツ文化センターにおいて、化学剤を用いた爆破事案が発生し、多数の死傷者が発生。その後、同市内の廃ビルにおいて、化学剤を所持した犯行グループによる立て籠もり事案が発生

訓練項目

山口県緊急対処事態対策本部の設置・運営訓練

緊急対処事態発生時における山口県の初動措置（情報収集・報告・各機関との連携）訓練

事態認定以降の県対策本部における情報収集、状況判断、意思決定及び国民保護措置を行う上で必要な対処訓練

訓練スケジュール

時間	スケジュール	訓練シナリオ概要	県（プレーヤー）の体制等
12:30	参加者集合 訓練訓示	シナリオ上の時間・内容であり進行状況によって変動	
13:00	訓練開始	化学剤散布発生 テロ犯行声明 立て籠もり発生	緊急事態連絡室設置
13:40			連絡室会議開催
14:30		事態認定（政府） ・警報の発令 ・避難措置の指示等	緊急対処事態対策本部設置
14:40			山口市とのTV会議開催
15:00		住民避難開始	対策本部会議開催
15:30	訓練講評 記者取材	記者取材は実施場所で行います。	

訓練実施場所・レイアウト図

実施場所：災害対策室（防災危機管理課内）

網掛けエリアは取材可能です。
（一般の参観はできません。）

